

## 議案第 2 号

不利益処分についての審査請求に関する規則の一部改正について

令和 4 年 3 月 10 日 提出 岩手県人事委員会 委員長 熊谷 隆司

---

### 第 1 趣旨

証人の宣誓の方法について、なつ印を不要とするものである。

### 第 2 規則案の内容

証人の宣誓の方法を、証人が宣誓書を朗読し、署名するものとし、なつ印を要しないこととすること。

### 第 3 施行期日（附則関係）

令和 4 年 4 月 1 日から施行すること。

不利益処分についての審査請求に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和4年 月 日

岩手県人事委員会  
委員長 熊 谷 隆 司

岩手県人事委員会規則第 号

不利益処分についての審査請求に関する規則の一部を改正する規則

不利益処分についての審査請求に関する規則（昭和54年岩手県人事委員会規則第10号）の一部を次のように改正する。

改正前	改正後
（証人の宣誓） 第34条 〔略〕 2 前項の宣誓は、証人が宣誓書を朗読し、これに署名 <u>なつ印</u> して行わなければならない。 3 〔略〕	（証人の宣誓） 第34条 〔略〕 2 前項の宣誓は、証人が宣誓書を朗読し、これに署名して行わなければならない。 3 〔略〕
備考 改正部分は、下線の部分である。	

附 則

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

## 不利益処分についての審査請求に関する規則の一部改正について

### 1 改正の趣旨

本規則において押印を必要としているもののうち、口頭審理における宣誓書への押印の取扱いを改めようとするものである。

### 2 改正の背景

#### (1) 国における押印等の見直し

内閣府の規制改革推進会議の検討の内容を踏まえ、総務省から「地方公共団体における書面規制、押印、対面規制の見直しについて」（令和2年7月7日総行行第169号、総行経第35号）が発出され、新型コロナウイルス感染症のまん延防止のみならず、業務そのものの見直しや効率化が図られ、行政サービスの効率的・効果的な提供にも資するものであることから、行政手続のみならず会計手続、人事手続等の内部手続についても国の取組を参考に書面規制・押印・対面規制の見直しに積極的に取り組むよう技術的助言があったところである。

また、人事院は、令和3年3月31日付けで「人事院規則一三一一（不利益処分についての審査請求）」等の一部を改正し、押印を必須としない取扱いが可能となるような改正を行ったところである。

#### (2) 県における押印等の見直し

県では、上記の国通知の趣旨を踏まえ、令和2年度以降、内部手続を含む全ての書面・押印・対面によることとしている手続について、恒久的な対応として全庁的に見直しを行うこととし、条例等に基づく手続については、国の法令等の改正状況を参考に令和3年度中に改正することとしている。

#### (3) 不利益処分についての審査請求に関する規則における押印等の見直し

令和3年3月、「職員の給与の支給に関する規則等の一部を改正する規則」により、規則中で定める様式を削除し、運用通知等に別途定める改正を行ったところであるが、押印の廃止については、国及び他県の動向等を注視しつつ、改正を検討する必要があることから、「口頭審理調書への押印（第29条）」、「宣誓書へのなつ印（第34条）」及び「裁決書への押印（第49条）」の改正は行わなかったところである。

### 3 他県等の状況

福岡市人事委員会が実施した調査（R3.12.10～R4.1.5）によると、以下のような状況である。

		宣誓書	審理調書	裁決書
人事院		署名のみ	記名のみ	記名のみ
他の人事委員会	押印を要する	16 (12)	47 (13)	53 (13)
	押印不要	50 (2)	19 (2)	15 (1)
	その他	3 (1)	3	1

※ カッコ内の数は、調査回答時点で「取扱いを検討中」などとしているもの。

※ 「押印不要」には、「署名又は記名押印」等、押印を必須としていないものを含む。

### 4 改正の方針（案）

「口頭審理調書への押印」及び「裁決書への押印」については従前のままとし、「宣誓書へのなつ印」については、押印を要しない取扱い（署名のみ）とする。

（理由）

- ・ 宣誓書については、自筆の署名により本人確認を行うことが容易であること。
- ・ 他県等の状況からも、宣誓書への押印は不要とする取扱いに支障がないと認められること。
- ・ 口頭審理調書及び裁決書については、当該文書の特性上、その真正性を担保する必要があるため、押印の意義が認められること。（行政不服審査法においても、同様の理由により裁決書への押印は残されている。）